



国立大学法人 山口大学

農学部

Faculty of Agriculture, Yamaguchi University

生物資源環境科学科

Biological and Environmental Sciences

農業経済学研究分野

Agricultural Economics

林 瑞穂 (hayashimizuh@yamaguchi-u.ac.jp)



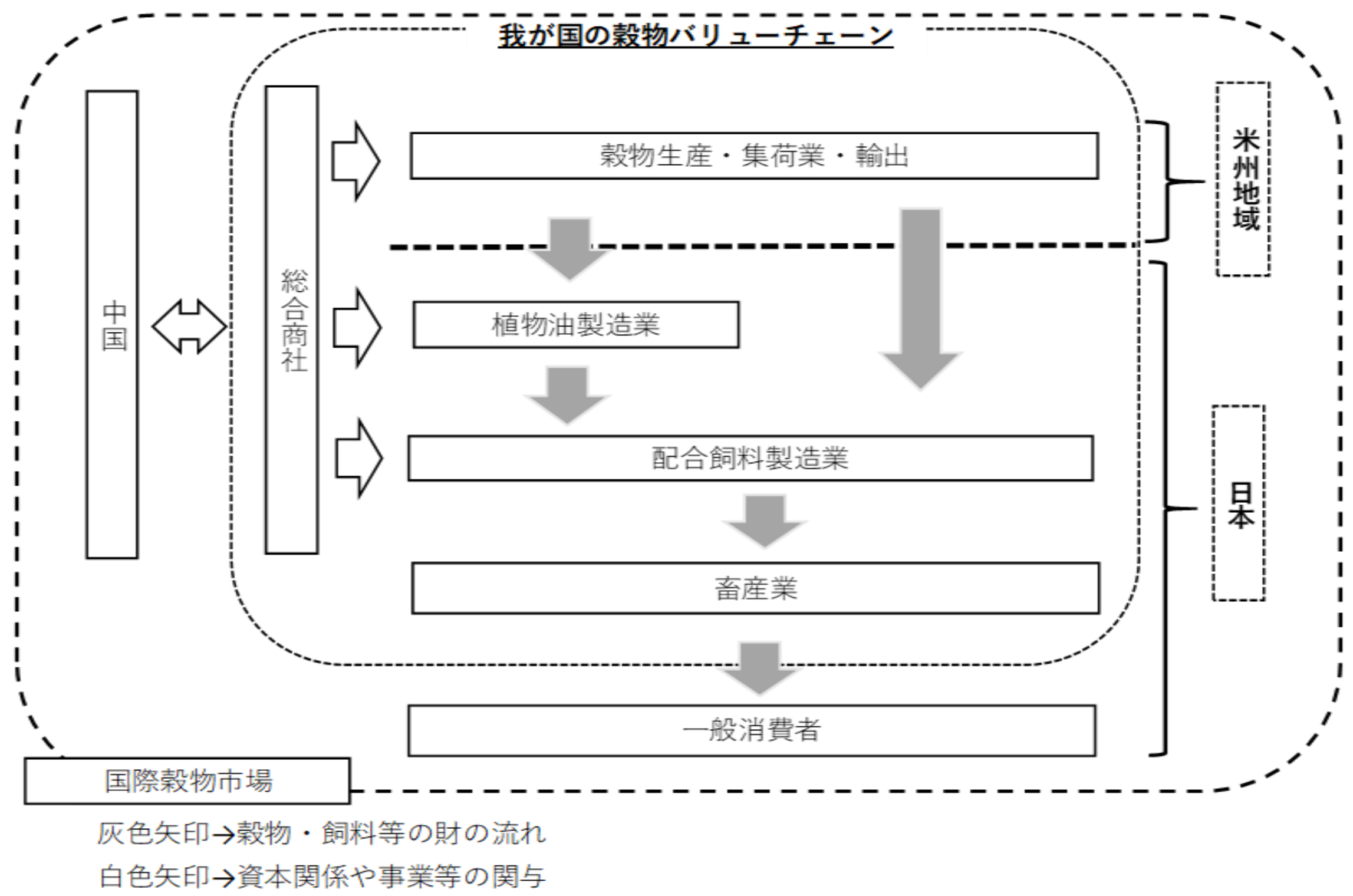
現在の農業や食料を取り巻く国際社会は、穀物・油糧種子を中心とする食料価格の高騰という問題に直面しています。これは、紛争や国際貿易交渉の動向という一時的要因に限らず、「新興国経済成長や世界人口増という需要の拡大」と「限りある水・土地資源や天候不順といった供給の制約」という構造的問題を抱えていることによるものです。食料を安定的に確保するためには、これら農業・食料に係る生産・輸出入・備蓄の実態把握ならび課題の解明が重要です。本研究室では、主に日本のフードバリューチェーンを構成する生産者や企業の動向を分析することで、日本の食料安全保障の課題把握に取り組み、食料安定調達に貢献することを目指しています。

### 研究テーマ

1. 日本の穀物・油糧種子バリューチェーンの構造分析
2. 米州大陸の農業・農業政策の研究

## 1. 日本の穀物・油糧種子バリューチェーンの構造分析

日本の穀物・油糧種子バリューチェーンを構成する「農業資材会社」「国内外生産者」「日系穀物商社（総合商社・全農）」「食品メーカー」「畜産業」「消費者」などを分析対象とし、これらの産業やアクターごとの実態のみならず、バリューチェーンの全容を理解し、垂直的諸段階の相互関係性も含めて考察し、実態と課題を把握することを目指します。



日本の大豆・トウモロコシに係るバリューチェーン

## 2. 米州大陸の農業・農業政策の研究

日本の食料調達地として重要な米国やブラジルをはじめとする米州大陸における農業生産・農業政策の実態および課題について、文献調査やフィールドワークを実施することで把握します。特に、近年、国際社会で著しく注目されるアマゾン森林の違法伐採に対する対応など、環境保全策が日本のフードバリューチェーンに与える影響分析についても注目します。



ブラジルの大規模大豆生産の現場 ウルグアイの有機栽培大豆